

ヒューマンインターフェースレポート

情報科学類, 3 年, 2 クラス

学籍番号 : 201311403 山岡 洸瑛, Yamaoka Kouei

2015/5/18(月)

オペレーティングシステム

オペレーティングシステム (以下 OS とする) とは、システムソフトウェアの 1 種であり、現在では必須と言えるほど重要なソフトウェアである。OS には Microsoft Windows, Linux, OS X, など様々な種類がある。

netmarketshare.com によると、2015 年 4 月現在 OS のシェアは Windows: 91.11%, Mac: 7.36%, Linux: 1.52%, other: 0%となっている。この値はあくまで統計なので正確ではないが、Windows が圧倒的であるという事は間違いないだろう。同サイトによると、バージョン別の OS のシェアは、Windows XP: 15.93%, Windows Vista: 1.95 %, Windows 7: 58.39 %, Windows 8: 3.50%, Windows 8.1: 11.16%となっている (Windows 以外は省略)。

この統計を見ると、驚くべきことに Windows 8 と windows 8.1 のシェアを足しても、サービスの終了した Windows XP のシェアに届かないのである。ましてや Windows 7 など遠く及ばない。やはり現在の主流は Windows 7 なんだなあ、というのはよく聞く話であるが、統計的に正しいことが分かる。

我々も友人とこういった話をすることがある。XP は良かったとか、7 も使いやすいとか、Mac の方がいいなど意見は人により様々だが、Windows 8 は使いづらい、という意見は一致していた。統計的にもそう感じている人が多いのだろうと容易に想像できる。

ある日、Windows 8 も慣れれば使いづらいとは思わない、と言った者がいた¹。いつもであれば気に止めることはない一言である。しかしヒューマンインターフェースの授業を受けた今、授業をうけながらも、慣れれば使える、などどという言葉で納得してしまったら、授業を聞いていないのではないかという実に不名誉な疑いをかけられてしまう。何より情報屋にもかかわらず、慣れれば使えるという理由で OS の改善案を考えない、諦めるなどという事は許されないだろう。従ってこれから Windows 8 の問題点と解決案について考察していく。

問題点

我々が Windows 8 を使ってみた時に使いづらい、問題点であると感じた点を以下に列挙する。

1. スタート画面 (Modern UI ²) の必要性がない
2. スタートボタンがない
3. 操作がわかりづらい
4. マウスやタッチパッドで操作しにくい動作がある
5. ストアアプリがデフォルトで全画面表示かつ自由な拡大縮小ができない

1. スタート画面 (Modern UI) の必要性がない

メモ

1. カスタマイズすることで便利にはなるが、タスクバーで必要十分。タッチパネルがあれば使いやすいかもしれないが、なければデスクトップの方がいい。起動後最初にここに飛ぶのやめて欲しい。毎回デスクトップを選択するのは面倒

- 自分で使うか使わないかを選択できるようにすれば良い。主体的に制御

- 8.1 で最初からデスクトップに飛べるように設定できるようになった

2. その結果、検索やシャットダウンなど、以前よりもやりにくく or 面倒になった動作がある。しかもシャットダウンなどは必須の動作

- シャットダウンについては 8.1 で改善スタートの位置から右クリックでできるようになった

- 1 と同様

3. コントロールパネルの表示とかわかりにくい。シャットダウンすら

- チャーム - 設定 - コントロールパネル

¹ 名誉のため名前は伏せる

² 元の名称は Metro UI。2012 年 8 月頃から何故か使われなくなった。商標の問題という噂がある。

-;チャーム-;設定-;電源-;シャットダウン

4. 検索，シャットダウンなど．タッチパネルがあれば...

ショートカットの用意．今のままでは種類多い．-;短期記憶がしにくい

5. 全画面邪魔，大抵 2 つウインドウを並べるし．画面スペースの無駄遣い